



2016年12月期 第3四半期
決算補足説明資料

2016年11月14日
証券コード：6084
株式会社オウチーノ

1 2016年12月期第3四半期 決算概況

2 第3四半期の取り組み

3 直近のIRについて

4 参考データ

2016年12月期第3 四半期 決算概況

業績ハイライト＜連結ベース＞

- 売上高 764百万円（前期同期比 80.0%）
- 営業利益 △91百万円（前年同期は△82百万円）

トピックス

- 住宅・不動産関連ポータル事業、インターネット広告代理事業の売上高が、前年同期に比べ減収。
- プロパティ事業において、たな卸資産評価損（特別損失）、海外取引先に対する債権の貸倒引当金繰入額（販売費及び一般管理費）及び為替差損（営業外費用）を計上。
※金額は、たな卸資産評価損22百万円、貸倒引当金繰入額12百万円、為替差損30百万円。

その他

- 2016年12月期の連結業績予想については、連結子会社(株)スペースマゼランにおけるプロパティ事業の撤退を決定するなど、期末までの進捗により業績が変動する可能性が高く、現時点での合理的な算定が困難であることから、業績予想の開示を見合わせております。

2016年12月期 第3四半期 決算概況（連結損益計算書）



（単位：百万円）

	2015年 3Q累計	2016年 3Q累計	前年同期比
売上高	955	764	80.0%
売上原価	396	325	81.9%
販売費及び 一般管理費	640	531	82.9%
営業利益	△ 82	△ 91	—
経常利益	△ 82	△ 125	—
親会社に帰属する 四半期純利益	△ 75	△ 147	—

※詳細は売上高、売上原価、販管費の詳細説明の各ページをご覧ください。

2016年12月期 第3四半期 決算概況（連結貸借対照表）



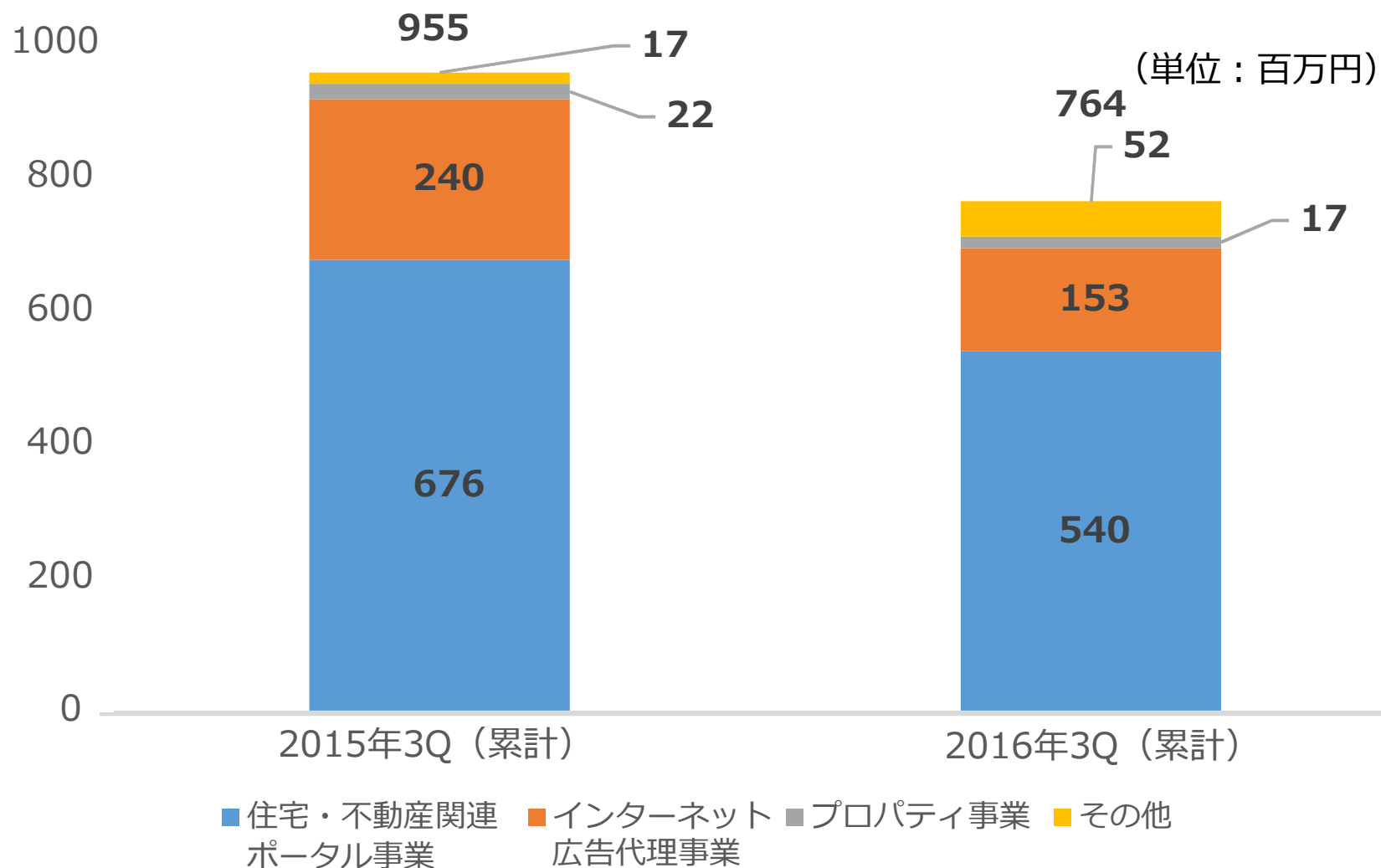
（単位：百万円）

	2015年 12月末	2016年 9月末	前期末増減	主な要因
流動資産 ※1	1,227	1,010	△ 216	現預金・前渡金の減少 販売用不動産、未収入金の増加
固定資産	75	69	△ 6	
資 産	1,302	1,080	△ 222	
負 債	503	429	△ 74	買掛金・未払法人税等の減少 短期借入金の純減、 長期借入金の借入れ
純資産 ※2	798	650	△ 148	四半期純損失の計上による 利益剰余金の減少
負債純資産	1,302	1,080	△ 222	

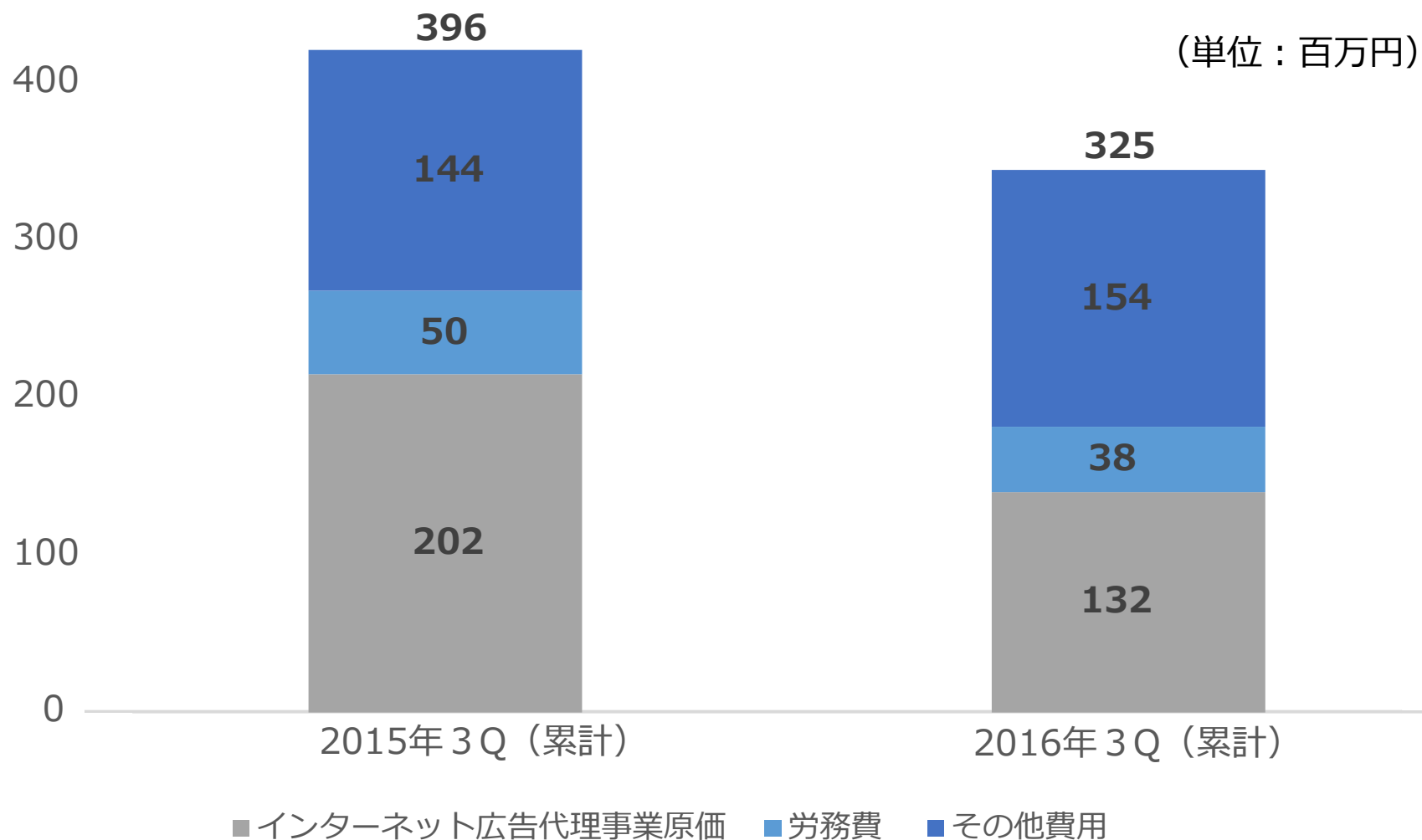
※1．販売用不動産、前渡金、未収入金は、主にプロパティ事業における資産。

※2．自己資本比率59.9%

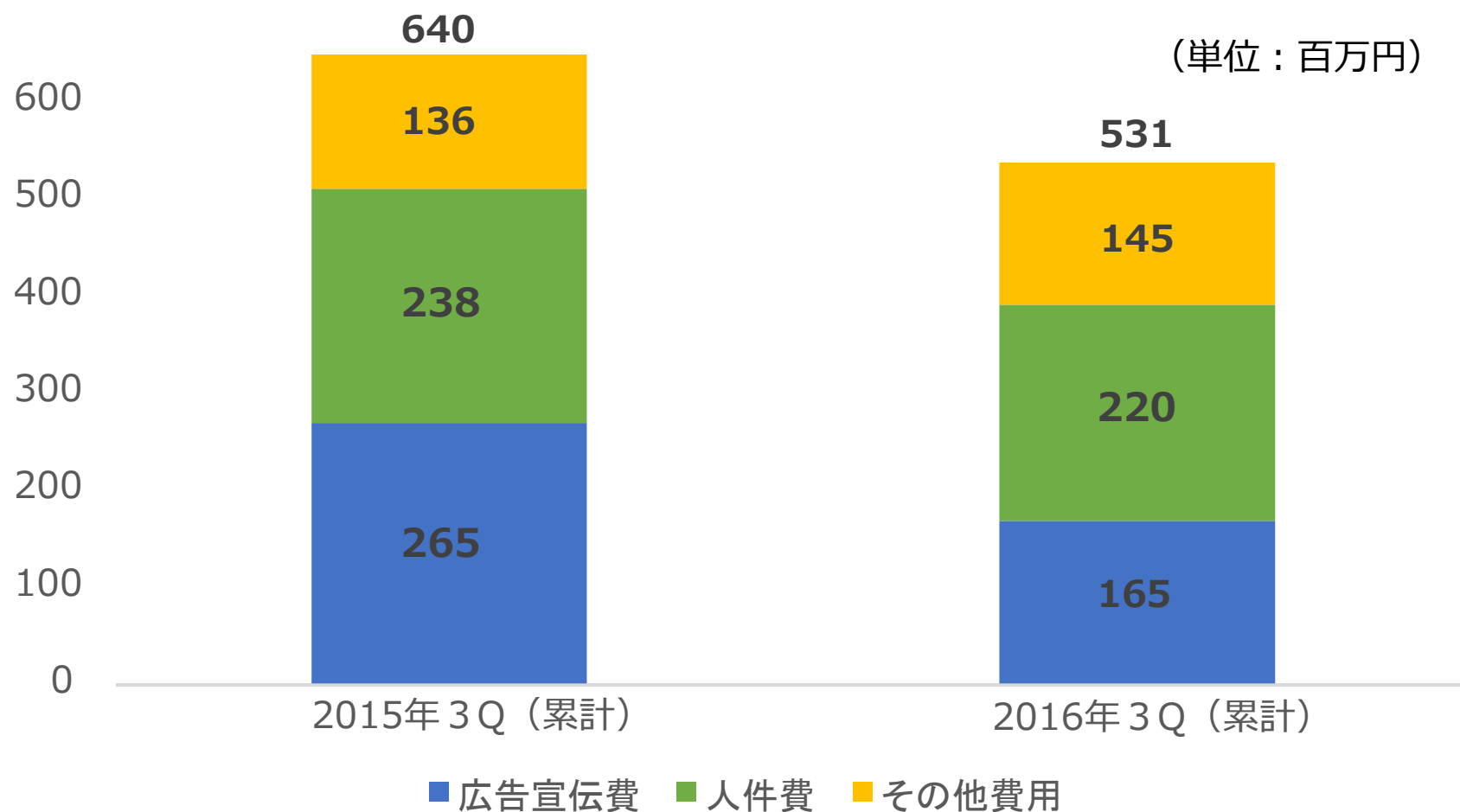
**住宅・不動産関連ポータル事業、インターネット広告代理事業が減収。
各事業の収益性の回復に取り組む。**



主な内訳はインターネット広告代理事業における商品仕入原価（外注費）、住宅・不動産関連ポータル事業における開発要員（システム）労務費等。



コストコントロールは継続して実施。2016年3Qその他費用は、プロパティ事業における海外債権の貸倒引当金繰入額12百万円を含む。



2016年12月期 第3四半期 決算概況（セグメント別業績）



（単位：百万円）

	2015年 3Q累計	2016年 3Q累計	前年同期比
住宅・不動産関連ポータル事業	676	540	79.9%
インターネット広告代理事業	240	153	63.9%
プロパティ事業	22	17	76.6%
その他	17	52	303.5%
セグメント間調整額	△ 2	△ 0	—
セグメント売上合計	955	764	80.0%
住宅・不動産関連ポータル事業	△ 72	△ 63	—
インターネット広告代理事業	7	△ 2	—
プロパティ事業	0.4	△ 14	—
その他	△ 17	△ 11	—
セグメント間調整額	0.3	0.3	100.0%
セグメント利益合計※	△ 82	△ 91	—

住宅・不動産関連ポータル事業

- Webマーケティング強化策を継続中。
- 収益確保に時間を要しているものの、検索エンジンからの集客に良化傾向がみられる。
- 広告宣伝費の合理化等、コストコントロールは徹底。

インターネット広告代理事業

- 業界内の競争が激化。自社商品の販売を行うが、更なる営業体制の強化が必要。

プロパティ事業

- 4Q以降の売上確保に向けた販売活動に注力。取引先への債権の貸倒引当金繰入額を計上。

その他

- インバウンド・アウトバウンド事業、Dr.オウチーノ、住まいソムリエで構成。

※四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

第3四半期の取り組み

第3四半期の取り組みⅠ（アウトバウンド事業）

「全国不動産投資フェア2016」を開催。

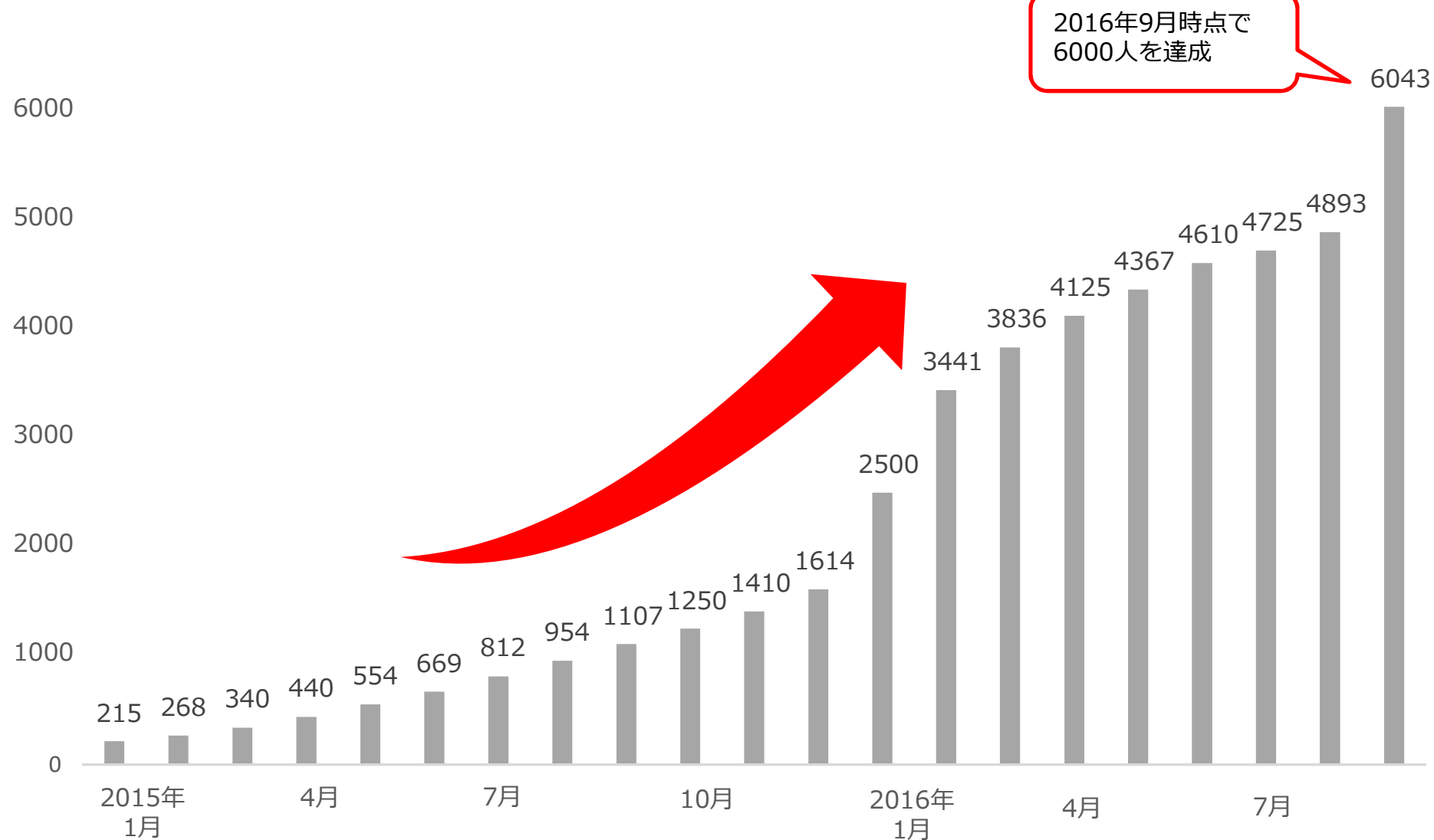


元経済財政政策担当大臣 竹中平蔵氏をお招きして2016年9月25日（日）御茶ノ水ソラシティにて、国内最大級の不動産のイベント「全国不動産投資フェア2016」を開催いたしました。



最新の不動産投資情報が集まった出展企業ブース。新築物件から中古物件まで15社を超える企業から国内不動産投資情報を1日で入手できるため、どのブースもたくさんの人で溢れていました。

海外不動産投資サイト会員数は順調に増加。



直近のIRについて

連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれについて

【経過】

- ① 連結子会社(株)スペースマゼラン（プロパティ事業）において、海外取引先に対する債権の取立不能又は取立遅延のおそれが生じ、2016年10月11日付で株主の皆様にご報告を行いました。
- ② 当該債権に対し、第3四半期連結決算において、財務内容評価法により、貸倒引当金繰入額（販売費および一般管理費）を計上しました。
また、直近の為替レートの推移を考慮し、為替差損（営業外費用）を計上しました。

＜詳細は、2016年10月11日及び11月14日付のIRをご参照ください。＞

公開買付並びに第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分

【取締役会開催日】

2016年10月28日

【決議の内容】

- ① 穂田誉輝氏による当社の普通株式に対する公開買付けに賛同の意見を表明するとともに、本公開買付けに応募するか否かについては株主の皆様のご判断に委ねることを決議しました。
- ② 穂田誉輝氏、堀口育代氏、林展宏氏、菅間淳氏、舘野祐一氏との間で投資契約書を締結し、第三者割当増資により新株式を発行することを決議しました。
- ③ 穂田誉輝氏に対し、第三者割当の方法により自己株式を処分することを決議しました。

＜詳細は、2016年10月28日付のIRをご参照ください。＞

重要な事業からの撤退（プロパティ事業）

【取締役会開催日】

平成28年10月28日

【決議の内容】

プロパティ事業からの撤退を決議しました。

なお、当該事業からの撤退は、2017年3月末（予定）を目途としています。

【撤退が営業活動等へ及ぼす重要な影響】

国内の販売用不動産について事業撤退に起因する収益性の見直しを行い、第3四半期連結決算において、たな卸資産評価損を計上しました。

＜詳細は、平成28年10月28日付のIRをご参照ください。＞

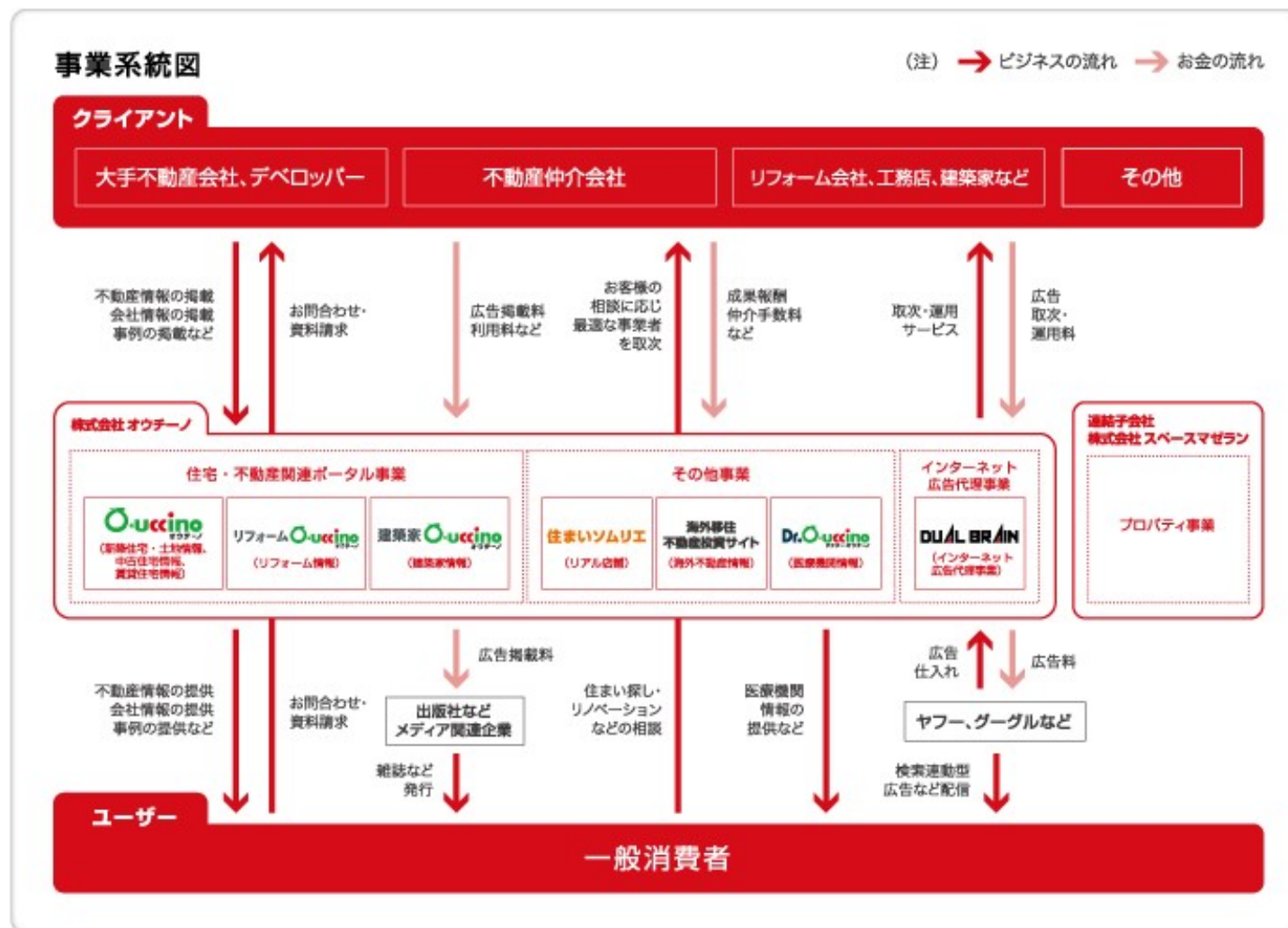
参考データ

(参考データ) 会社概要



会社名	株式会社オウチーノ（東証マザーズ 証券コード：6084）
事業内容	● 住宅・不動産関連ポータル事業 ● インターネット広告代理事業 ● その他事業（インバウンド・アウトバウンド事業 ドクター・オウチーノ） ● プロパティ事業（100%連結子会社(株)スペースマゼラン）
代表取締役	井端 純一
設立	2003年4月
資本金	3億9,529万3,750円(2016年9月末現在)
役職員数	68名（従業員及び役員、子会社役員等を含む）
本社	東京都港区東新橋2-14-1 コモディオ汐留
支社	大阪市中心区、福岡市博多区、名古屋市中心区
決算期	12月末日

(参考データ) 事業系統図



この資料は、株式会社オウチーノ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において提供される資料ならびに情報には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

株式会社オウチーノ
経営企画室 IR担当

電話 03-5402-6919（平日10：00～18：00）

ファックス 03-5402-3313

E-mail ir@o-uccino.jp

企業サイト <https://corporate.o-uccino.jp/>